

科目	目的・目標	内 容	単位 (時間)	方法	進 度
看護の基礎実習Ⅱ (看護過程)	<p><目的> 健康問題をもつ対象を理解し、個別性に応じた看護実践する能力を養う。</p> <p><目標> Ⅰ. 対象のライフステージを含め、身体的・精神的・社会的側面から理解する。 Ⅱ. 各ライフステージにある対象の生活背景を把握し、健康問題により、個人の生活や家族・社会にどのような影響を及ぼすのかを理解する。 Ⅲ. 看護過程の思考を活用し、対象の看護上の問題を明らかにし、必要な看護が提供できる。 Ⅳ. 対象の価値観を尊重した姿勢・態度を身につける。</p>	<p>1. 対象の特徴を身体的・精神的・社会的側面から捉える。</p> <p>2. 対象のライフステージの特徴と対象が持つ健康課題を理解する。</p> <p>3. 入院や健康問題が対象及び家族・社会に及ぼす影響を理解する。</p> <p>4. 対象に必要な情報を収集し、アセスメント（解釈・分析・判断・推測）を行い、看護上の問題を明らかにする。</p> <p>5. 問題を解決するために必要な援助を計画・実施・評価する。</p> <p>6. 対象の健康的側面における強みを助長するような援助を行う。</p> <p>7. 対象の価値観を理解し尊重し、看護を行う。</p>	2 90	<p>【臨地】 場所：星総合病院</p> <p>期間：9日間</p> <p>形態： ・対象1名を受け持ち、看護過程のアセスメント、問題の抽出、看護計画の立案・実施・評価まで行う。</p>	2年次 前期